

# 全国まるごとうどんEXPOを 4県の協同組合が連携して盛り上げる!

9月30日(土)～10月1日(日)の2日間、湯沢市の市役所駐車場をメイン会場に、全国まるごとうどんEXPOが開催されました。今年で7回目の開催となる当イベントには、稲庭うどんをはじめ、全国から全19種類のご当地うどんが集結したことで、総勢8万人が会場を訪れました。



[会場の様子]

当イベントには、秋田県稲庭うどん協同組合(佐藤正明理事長)のほか、本場さぬきうどん協同組合(大峯茂樹理事長)、五島手延うどん協同組合(舩田安男理事長)、三重県製麺協同組合(堀哲次理事長)等の事業協同組合が主体となって参加しました。

全国まるごとうどんEXPO実行委員長を務める秋田県稲庭うどん協同組合の佐藤正明理事長によると、出展する団体の『質』や『サービス』は、お客様ニーズの追求により年々レベルアップが顕著とのこと。

大盛況となった今回のイベントに関して、各組合は次のようにコメントしています。

## 本場さぬきうどん協同組合(香川県)

「秋田県稲庭うどん協同組合とは以前から交流があった。うどん県と銘打つ香川県の『本場さぬきうどん』を多くの来場者に堪能していただくことで、うどん食のPRや消費拡大に繋がりたい。組合を通じた販路拡大や認知度向上の取組に手応えを感じており、うどんEXPOには第1回から組合で参加している。今後も、香川県が主催する『全国年明けうどん大会』や県外のイベントに積極的に参加することで、本場さぬきうどんを一層広めていきたい。」



[本場さぬきうどん(協)のブース]

## 五島手延うどん協同組合(長崎県)

「販路拡大と組合員企業の活性化、そして後継者育成を目的に第1回から参加している。EXPOの2日間では、約3,000杯を来場者に振る舞うことができた。『五島うどん』は、300余年の伝統があり、手作業で行われる手延べの製法を親から子へ伝承しながら、今日まで受け継がれてきた。今後も組合が先頭となることで、EXPOを始め、関西外食ビジネスウィーク等の出展会に参加しながら、販路切り開いていきたい。」



[五島手延うどん(協)のブース]

## 秋田県稲庭うどん協同組合(佐藤正明理事長)

「来場者数も回を重ねるごとに増加しており、イベントとして定着してきていることを実感している。秋田県を代表するイベントに成長できるよう研鑽を重ねながら、『うどん』という食文化を通じて、子どもから大人までが笑顔になれるように、おもてなしの精神を忘れずに開催を続けていきたい。また、ご当地うどんの協同組合が全国から湯沢市に集まって交流し、イベント全体を盛り上げる役割を担っていることは大変嬉しく、心強い。」



[秋田県稲庭うどん(協)のブース]

本号では、秋田県で開催された全国規模のイベントに、他県から協同組合が集結した事例をご紹介します。組合事業である共同宣伝事業の実施により、組合員企業や業界全体の発展に取り組んでいる組合は他にも多くあります。

今回のイベントに限らず、業界をPRするために組合を上手に活用してみたいと思います。